



隠れ待機児童やきょうだい別々入園について／鷹の台駅無人化
鈴木 だいichi 議員
(日本共産党小平市議員)



隠れ待機児童やきょうだい別々入園など保育施策を問う

質問 2025年度にきょうだいで同じ園への入園を希望していたが...

市長 令和7年度の申込みでは、きょうだいで認可保育園に通っている765世帯1千5百77人のうち、別々の認可保育園に通っているのは157世帯329人である。

鷹の台駅の無人化から子どもや障害者等の安全を守るために

質問 ①障害者団体から、鷹の台駅の無人化について切実な声が上がっているが、西武鉄道株式会社に対策を求めていく考えはあるか。

市長 ①障害者が集まる会場で、無人駅となった西武鉄道を利用しづらくなるという意見があったことは把握している。今後は意見の内容を精査し、西武鉄道株式会社に対策を求めていく。



データセンター建設予定について／地域公共交通拡充を求める
三輪 博美 議員
(日本共産党小平市議員)



データセンター建設予定について、市民の声を丁寧に聞くこと

質問 ①今後の近隣住民への説明会の予定は。

市長 ①開催日は決定していないが、事業主によると施工業者が決まり次第、条例に基づく説明会を開催し今後の事業計画や工事概要を説明する予定である。

②十分な説明を行い、周辺住民の不安解消に努めるよう事業主に助言している。引き続き丁寧に対応するよう指導していく。



公共工事における不正、議会での市長の虚偽答弁疑いについて
伊藤 央 議員
(一人会派と維新の会)



鷹の台駅前広場整備工事と議会答弁に関する疑義について

質問 ①鷹の台駅前広場整備工事に係る地中のコンクリート殻の存在を示す図面が、市への説明に使った資料として都から開示された。提示されていないという市の主張と食い違うのでは。

市長 ①東京都から委託を受けた東京水道株式会社は、市への報告に係る記録がないと言っている。市の認識に誤りはない。

②検査前に契約内の作業がある。改めるとの支払いはない。

③業者は実際の提出日を記載、市も提出を受けた日で收受する。

鷹の台駅前道路陥没修復工事と議会答弁に関する疑義について

質問 ①鷹の台駅前道路陥没修復工事の随意契約は不適切では。繕工事の随意契約は不適切では。

市長 ①市から業者へのメールに、3件の工事について1案件の契約は約30万円未満となる旨の記載がある。少額随意契約のための分割発注が疑われるが見解は、

市長 ①現地に精通している業者と随意契約をした。

②メールデータが存在せず確認できないが、段階ごとに各工事をを行った。分割発注ではない。



小平をより歩きたくなるまちに／安全な自転車利用について
さとう 悦子 議員
(生活者ネットワーク)



小平市の魅力アップし、より歩きたくなるまちにするために

質問 ①町なかの道路等にベンチ設置を要望する声への認識は。

市長 ①広い歩道を持つ道路等、余裕のある公共用地にベンチを設置してほしいとの要望がある。市管理の道路の有効活用に関して他市の取組状況など研究する。

②複数の事業者が声をかけているが申出に至っていない。

③駅と自宅間の移動、特に平日は通勤等に利用されている。

小学校の動物飼育から地域のつながりと安全面の両立を考える

質問 ①小学校での飼育の際、夏の暑さ、冬の寒さ対策は。また、現在の気候状況に合った飼育方法へ見直す必要があるが見解は。

市長 ①夏は日差しを遮る、冬は飼育舎の金網をダンボール紙等で覆うなどの工夫をしている。飼育の見直しは獣医師の助言をもらいながら研究していく。

②獣医師会と毎年協定を締結し、助言や指導を受けている。保護者には長期休業中の一時預かり等で協力してもらっている。

地域全体で事業者や自治会を支援できる体制を目指す

質問 ①自治会はどのような存在か。また、支援制度は。

市長 ①地域を支える重要なコミュニティである。自治会ごとに課題は様々であり、ニーズ等を把握して支援制度を周知している。引き続き支援に努める。

②LED照明への交換は全件完了している。現在、街路灯を保有する商店会へ維持管理費の一部を補助するなどしており、引き続き支援策を検討していく。



小学校の動物飼育で地域のつながり等を／自治会等の支援体制
吉本 ゆうすけ 議員
(フォーラム小平)



制度のはざまケースに対し、ワンストップ支援窓口の創設等を

質問 ①アウトリーチ型支援体制として、行政が困りごとを把握した上で事業者を公募登録する仕組みを構築し、制度のはざまにあるケースに対応するワンストップ支援窓口を創設しては。

市長 ①窓口に行くことができない人のため、デジタル技術を活用し、市に登録した事業者と支援が必要な市民をマッチングする仕組みを構築し、必要な支援を提供するシステム導入の考えは。

市長 ①アウトリーチ支援では様々な支援関係機関がネットワーク等を活用して対象者情報を把握し取り組んでいる。また、一つの支援関係機関では対応が難しいケース等は、こだいら生活相談支援センターのコミュニティ相談支援センターのコミュニティソーシャルワーカーが相談を受け止め、支援関係機関等と連携し対応している。現在、事業者の公募登録の仕組みは考えていないが、引き続きニーズに応じた包括的な支援に努める。

②窓口に来ることができない人も、同センターのコミュニティソーシャルワーカー等が支援しているため、事業者と市民のマッチングの仕組み構築は考えていないが、今後も相談者の意向を尊重しながら、必要に応じて事業者団体につないでいく。



制度のはざまケースに対し、ワンストップ支援窓口の創設等を
山田 大輔 議員
(自民党小平政和会)



一般質問



商店会が設置している街路灯 (小川東町商店会)

市長の所信表明と7つの政策と再開発の進捗を問う

質問 ①物価高対策で具体的にどのような取組を行うか。

市長 ①物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、低所得世帯への支援給付金、障害・介護事業所や保育施設等への負担軽減事業、事業者物価高騰応援金等の取組を進めていく。

教育長 ②教員対象の研修会の際に学校と適宜GIGAスクール構想に関する情報共有を図り、学校からも意見聴取を行っているため、検証を行う予定はない。



市長の所信表明と7つの政策／小川駅西口複合施設について
細谷 正 議員
(日本共産党小平市議員)



小川駅西口複合施設は市民の意見を聞き反映させるべき

質問 ①小川駅西口複合施設指定管理業務仕様書案について、市民に説明すべきだが見解は。

市長 ①仕様書案の公開前に、関係団体等と意見交換を行った。

②現在、指定管理者の公募等の過程であるため答弁は控える。

③立川市立小学校への不審者の侵入を受け、学校の施設複合化は見直しを

化を見直しを